

令和 元年 11 月 28 日

「多文化共生のまち福島推進検討委員会」を設置 基本指針作成に着手

昨今の訪福・在住外国人の増加や、入管難民法改正による在住外国人の確実な増加見通し、さらには、人口減少社会や高齢化の進展による人口構造変化などの地域課題への対応として、外国人住民施策を充実・強化し、外国人との共生社会をより一層推進していくことが急務となっています。

そこで、外国人が安心して暮らすことができ、地域のパートナーとしても協働する「多文化共生のまち福島」を推進する「(仮称)多文化共生推進指針(案)」を検討・決定するための委員会を設置します。本委員会で決定した指針に基づき、市の全庁的推進体制を構築し関係機関・団体との連携を強化して、外国人住民施策を包括的に推進していきます。

また、この指針とも関連した取組みとして在住外国人のための「生活ガイドブック(注1)」の見直し(内容拡充)についても、ご意見をいただきます。

注1:「生活ガイドブック」とは・・・外国人が本市で安心して生活できるよう、本市や、本市での生活に関する様々な情報(市データ、医療機関、母子保健、国民健康保険、学校、保育所、等)を盛り込んだ生活ガイド。現在、英語・中国語・韓国語版を発行しており、本委員会で内容を見直した上で、新たにベトナム語・タイ語・インドネシア語版を追加する予定。

記

- 1 日 時 : 令和元年 11 月 28 日 (木)

【委嘱状交付】	午後 1 時 15 分～
【検討委員会】	午後 1 時 30 分～

- 2 場 所 : 市役所本庁舎 4 階 庁議室

- 3 内 容 :
 - (1) 本市の国際化の状況等について
 - (2) 「(仮称)多文化共生のまち福島推進指針(案)」の検討について
 - (3) 在住外国人のための「生活ガイドブック」の見直しについて

- 4 委員構成 : 学識経験者や各生活分野の代表者など 11 名 ※詳しくは次ページに記載

- 5 スケジュール : 本年度に 3 回程度開催予定
※令和 2 年度にも数回開催し、来年 7 月頃までに指針を決定する予定。

- 6 その他 :
 - ・この検討委員会の会議は、原則公開で行います。
 - ・会議開催後の結果概要について、市ホームページ上でも公表し、市民の皆さまからも広く意見を募集します。
 - ・この検討委員会とは別に組織する「庁内検討委員会」にも、適宜情報を提供し必要な議論を行って、全庁的な推進体制の確立を目指します。

多文化共生のまち福島推進検討委員会 委員名簿

(敬称略)

No.	氏名	分野	所属・役職等
1	中川 祐治	学識 (日本語教育)	福島大学人間発達文化学類 准教授
2	佐藤 美奈子	経済/ 国際交流	福島商工会議所 女性会 福島市国際交流協会 副会長
3	大宮 由美	労働	ハローワーク福島 雇用指導官
4	クームズ・アンドリュー	観光	福島市観光コンベンション協会 業務部長
5	竹田 洋介	医療	福島市医師会 副会長
6	渡辺 正雄	福祉	福島市社会福祉協議会 事務局長
7	加納 武志	住宅	福島県宅地建物取引業協会 福島支部長
8	清水 修二	地域自治	福島市町内会連合会 (蓬萊第一町会長)
9	佐藤 和子	教育	福島市小・中学校長会協議会 (鳥川小学校長)
10	許 東暁 (キョ トウギョウ)	一般 (在住外国人)	第2回元気トーク参加者 (福島中国伝統文化愛好会)
11	キャロル・ルイーズ	国際交流	福島市国際交流員 (C I R)

担当：定住交流課都市間交流係
課長 橋本、係長 清野
電話 024-525-3739 (直通)